

池田慶徳 うらたけ 歌人、舊鳥取藩主。天保八年七月十三日江戸小石川  
水戸藩邸生れ、明治十年八月二日歿（一八三七—七七）。諱昭徳、のち慶徳、  
字子明、幼名五郎麿。號省山、竹の舎。徳川齊昭の五男。嘉永三年鳥  
取藩主池田慶榮の繼嗣となり、藩政改革に努むり、慶應四年藩論を勤  
皇に統一・維新後、議定、鳥取藩知事。

豫（のり）歌文を能くし、明治六年の宮中歌會始は命を承けて讀節。歌作  
は「竹の舎集」前後十一卷數千首に及び、隨筆類も亦數冊からず、「  
方夫人寛子（明治五年一月二十五日歿）も詞文の長じ、歌集四卷を遺  
したといふ。印行本『慶徳公御歌』（昭和二年六月榎川榮吉序、無刊  
記）、榎川榮吉執筆『樽配祀池田慶徳公略傳』（昭和二年七月二十六日  
鳥取・樽谿神社臨時祭協賛會編輯）がある。



樽谿  
配祀 池田慶徳公略傳

